

自然の宝庫！自然の恵みと再興

～ネイチャーポジティブ～

廃棄物処分場跡地の華麗なる変身

若松区の響灘ビオトープは、もともと廃棄物処分場の一面でした。昭和55（1980）年から埋め立てが開始されましたが、終盤を迎えた平成16（2004）年頃になると地盤沈下による凹凸や、湿地、淡水池、草原などのさまざまな環境が生み出され、そこに希少種を含む多くの生き物が生息するようになっていたのです。

また、響灘地域は、日本列島を縦断する渡り鳥のコースにあたることから、越冬地や中継地となるなど、野鳥が多く集まるポイントにもなっていました。

そこで、検討を重ねた末、平成24（2012）年、面積約41haと日本最大級のビオトープとして開園しました。令和4年度末時点で約20万人が訪れています。

現在、希少種を含む800種もの生物が確認されている響灘ビオトープは、環境省から「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」（重要湿地）に指定されるとともに、令和5（2023）年10月には「自然共生サイト」*として認定されました。

これからも響灘ビオトープの環境保全を進め、自然環境を学び体験できる自然環境学習拠点として発展させ、北九州市の自然のよりよい形を目指した「ネイチャーポジティブ」を進めていきたいと考えています。

*環境省「自然共生サイト」
<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

響灘ビオトープの希少種



響灘ビオトープ公式マスコットキャラクター



チュウビ
 環境省RL2020
 絶滅危惧IB類



ベッコウトンボ
 環境省RL2020
 絶滅危惧IA類



この人に訊いてみた

ハートランド平尾台株式会社 代表取締役社長 加茂野 秀一さん

埋め立て事業担当や自然環境保全担当など立場を変えながら「響灘ビオトープ」に関わりました。開園に向けた園内整備（表土形成）では、廃棄物処分場跡地に自然と集まった生き物の生息場を少しずつ誘導しながら工事を行わなければならない、土木的に非常に苦労しましたが、生態系専門家の指導のもと、熱意を持った仲間にも恵まれたことで成し遂げることができました。今後は、生物多様性の損失を止め反転させる「ネイチャーポジティブ」の視点を大切にし、これまで以上に市民の皆さんに親しまれていくことを願っています。

北九州市の環境の未来



環境と経済の好循環

北九州市は、令和5年度に、北九州市基本構想・基本計画を策定しました。

基本構想では、「つながりと情熱と技術で、『一步先の価値観』を体現するグローバル挑戦都市・北九州市」を目指す都市像として掲げ、次の3つの重点戦略を設定しています。

目指す都市像の実現に向けた3つの重点戦略

- ① 稼げるまち
- ② 彩りあるまち
- ③ 安らぐまち



この戦略に基づき、環境分野でも、環境の保全に取り組みつつ、グリーン産業の集積や市内企業の競争力強化を図り、環境と経済の好循環を実現します。

① 「稼げるまち」の実現に向けて

環境と経済の好循環によるグリーン成長を目指し、風力発電関連産業の総合拠点形成、水素の供給・利活用拠点化などに取り組みます。また、社会課題に対応した新たなリサイクル事業の創出など、持続可能な形で資源を利用するサーキュラーエコノミー（循環経済）を推進します。

こうした取り組みにより、グリーン産業のさらなる集積を目指すとともに、再生可能エネルギーリサイクル機能などさまざまな環境価値を提供することにより、市内企業の国際競争力の強化を図る「北九州グリーンインパクト」を推進します。

- 再生可能エネルギーの普及を推進するとともに、再エネ主力電源化の切り札といわれる洋上風力発電において、産業拠点化や産学官の連携による人材の育成・確保に積極的に取り組めます。
- 製造業等における本格的な水素利用による「脱炭素化」と「競争力強化」に向けて、響灘臨海部を中心とした水素供給・利活用拠点の形成、水素サプライチェーンの構築を目指します。
- 国内外で評価が高いエコタウン事業をさらに発展させ、蓄電池やプラスチック等のリサイクルシステムを築くなど、新たなビジネスを創出します。製造業とリサイクル材料の供給を連携させる取り組みを推進します。また、エコタウン事業等で培ったノウハウを活かし、国内外の環境スタートアップ企業を集め支援します。
- 国際技術協力や政策交流を通じて培ってきたアジア地域とのネットワークを生かし、企業による環境・上下水道分野のインフラ輸出やスタートアップの海外展開の支援を行います。また、国内外の様々な関係者とビジネス面での接点を増やす取り組みを推進していきます。このような取り組みによって、国内関連企業の市内への集積を促進し、海外からの投資を呼び込むことで、環境国際ビジネスの拠点となる「アジア・グリーン共創ハブ」を推進します。



洋上風力発電のイメージ



水電解装置



自動車のリサイクル工程

海外での活動の様子



コンポスト製造技術指導の様子



環境企業の設備見学会の様子



現地住民にごみ回収拠点の使用方を指導している様子



環境教育イベントの中で家庭からたごみを運ぶ子どもたち

② 「彩りあるまち」の実現に向けて

北九州市は豊かな自然環境に恵まれています。環境保全や情報発信を通じて、生物多様性の回復を目指す「ネイチャーポジティブ」事業に取り組んでいきます。また、まち美化対策をさらに充実させて、ひとや企業が自然に集いやすくなるようなまちづくりを行います。

- 自然の保全に取り組み、2030年までに海・陸の30%の保全を目指す国の「30by30(サーティバイサーティ)」目標に貢献します。
- 市民ひとり一人が北九州市の豊かな自然環境を楽しみ、また、人と生物多様性とのつながりを重視する価値観を形成するため、北九州市の自然の特徴や見どころの分かりやすい発信やイベントなどに取り組みます。
- 市民をはじめ、観光客など北九州市にかかわるすべての人が、日常の街並みを美しく感じ、居心地がよく歩きたくなるウォークアブルなまちを目指し、まち美化の推進など、快適で美しいまちづくりを推進します。

北九州は自然がいっぱいだぞ！



©ていたん＆ブラックていたん、北九州市

③ 「安らぐまち」の実現に向けて

ごみ焼却工場等の廃棄物処理施設の適切な維持、大気・水質等の環境監視、不法投棄対策等に取り組むことによって、市民が安心して暮らせる基盤を整えます。

- 市内のごみを適正かつ安定的に処理するため、廃棄物処理施設の更新・改良を適切に進め、大規模災害への対応、温室効果ガスの削減、広域処理等の課題に総合的に取り組んでいきます。

みんなでごみを減らしていこう！



北九州市の環境の未来

北九州市は、環境の新しい価値や環境ビジネスの可能性など、環境分野の将来像を示し、若者をはじめ多くの方がこの街に住みたい、そして働きたいと感じ、また環境ビジネスがこの街で起こり、発展していく、そのような未来の創造に取り組んでいきます。